日本原燃株式会社 再処理施設(2007年度第2四半期)

測	ı÷	対象	5		採	į į	取		測 定		測 定 値 ^{注1}			比較対照区域	備考	平常の変動幅 ^{注1,注2}
	J Æ	刈ョ	涿	採	取	点	頻	度	対 象	頻度	対 象	最小~最大	単 位	最小~最大	11/11 75	最小~最大
油	=								³ H		³ H	N D	Bq/L			N D
				むつ小川原港 港湾区域内 むつ小川原港港湾 区域北側境界付近 むつ小川原港港湾 区域南側境界付近		⁹⁰ Sr		90Sr	N D]	ND∼3			
								⁶⁰ Co	N D				N D			
								¹⁰⁶ Ru	N D				N D			
		기	(カ月	a. + * + * +=	1回/3ヵ月	¹³⁴ Cs	N D	D //		•採取日:2007.7.24	N D		
						γ核種 		¹³⁷ Cs	N D	mBq/L			N D			
								¹⁴⁴ Ce	N D				N D			
								¹⁵⁴ Eu	N D				N D			
									Pu $(\alpha)^{{2}3}$	1	Pu($lpha$) $^{ ext{!}^{23}}$	N D				N D
				放出口付近1地点 東約1km地点1点 西約1km地点1点 商約1km地点1点 南約1km地点1点 前約3km地点1点 物3km地点1点 物見崎沖1点				90Sr		⁹⁰ Sr					N D	
海					1回/6ヵ月		1回/6ヵ月	⁶⁰ Co		Bq/kg•乾	· \$	·第1四半期報告済 ·第3四半期報告予定	N D			
								¹³⁴ Cs					N D			
								¹³⁷ Cs					N D			
	∓ ∫	E £						144Ce					N D			
								¹⁵⁴ Eu					N D			
						Pu $(lpha)^{23}$		$Pu(\alpha)^{\Xi 3}$					0.11~0.75			
							²⁴¹ Am		²⁴¹ Am]	ND∼0.30		
						²⁴⁴ Cm		²⁴⁴ Cm					N D			
	魚			六ヶ所村 前面海 ^は	村 毎域1地点	1回/3ヵ月		³ H		³ H	N D	Bq/L			N D	
海			類				¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	1 (0	N D	Bq/kg•生		・採取日:2007.8.24 対象:ヒラメ	N D		
/#							Pu $(\alpha)^{23}$		$Pu(\alpha)^{{}^{23}}$	N D				N D		
産	貝			六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	N D	Bg/kg•生		•採取日:2007.7.30	N D			
物			枳		域1地	域1地点	1四/3/1月	Pu $(\alpha)^{{}^{ extstyle 23}}$	「四/3/1月	$P_{\text{LI}}(\alpha)^{\pm 3}$	N D	Dq/kg•±	対象:	対象: ムラサキイガイ	ND~0.007	
175	海湾	藻	硩	六ヶ所村		1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	106 Ru	N D	Bq/kg•生		•採取日:2007.8.7	N D		
		/木	炽	前面海域1	域1地	1地点	. [27, 07,7]	Pu $(\alpha)^{{2}3}$.四/0///	Pu $(\alpha)^{{}^{{}^{\!$	N D	Dq/ kg- ≖		対象:コンブ	ND~0.012	
*	漁網		₩	六ヶ所村	1回/3ヵ月	表面線量率	1回/3ヵ月	γ 線	N D	nGy/h nGy/h		- 設置期間:	N D			
15			J	前面海域1地点		吸収線量率		β 線	N D			2007.6.12~2007.9.13	ND∼50			

- 注1) N D:定量下限値未満を示す。
- 注1) N D: 定重 下限値未満を示す。
 注2) 「平常の変動幅」とは、過去の測定結果(1998年度第3四半期~2006年度)のうち、再処理施設の平常運転に伴う変動を含めない最小値から最大値である。
 ただし、上記の期間と異なる測定項目は以下のとおり。
 ・海底土のPu(α)、²⁴¹Am、²⁴⁴Cm及び海産物のPu(α)は2002年度~2006年度までである。
 ・漁網のγ線及びβ線は、2005年度~2006年度までである。
 注3) Pu(α): ²³⁸Puと²³⁹⁺²⁴⁰Puの合計値を示す。

日本原燃株式会社 再処理施設(2007年度第2四半期)

測定対象			採	取	測 定		測 定 值 ^{注1}			比較対照区域	備考	平常の変動幅 ^{注1.注2}
Í	測 止 刈 豕		採取点頻		対 象	頻度	対 象	最小~最大	単 位	最小~最大	/用 ² つ	最小~最大
空間放射線	線量	上率	敷地内9地点	連続	γ線	連続	モニタリング γ ポスト	13~40 ^{注3}	nGy/h			7~81 ^{注3}
			敷地外3地点	AE 191	1 457	ZE 19.0	線 モニタリング ステーション	19~51 ^{注3}	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i			7~93 ^{注3}
			敷地内1地点	連続	γ線	1回/週	γ 線	8.7 ~ 10.5	μSv/7日		・設置期間:2007.7.2~ 2007.10.1	6.2~12.9
	積 算:	線量	敷地内9地点 敷地外14地点	連続	γ線	1回/3ヵ月	γ 線	87 ~ 108	μ Gy/91日	87	・設置期間 敷地内:2007.6.27~ 2007.9.26 敷地外:2007.6.28~ 2007.9.27	69~119
空気			敷地内9地点	連続	全α放射能 全β放射能	連続	全α放射能 全β放射能	7.0 ^{注3} 4.8 ^{注3}	Bq/m³		・当該四半期を通じての 最大値	16 ^{注3} 8.7 ^{注3}
			敷地外3地点		全α放射能		全α放射能	* ~0.18			・採取期間: 2007.7.2~ 2007.10.1	* ~0.37
	浮遊	じん		連続	全β放射能	1回/週	全β放射能	* ~ 0.57	mBq/m ³		・測定値が計数誤差の3倍 以下の場合検出限界以下 とし、「*」で表示した。	* ~ 1.2
			敷地内9地点 敷地外3地点	\ +	¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	N D	· mBq/m³		・採取期間 敷地内:2007.7.1~	N D
				連続	Pu(α) ^{注4}		Pu(α) ^{注4}	N D			2007.10.1 敷地外:2007.7.2~ 2007.10.1	N D
	気体状ベータ 放射能濃度		敷地外3地点	連続	⁸⁵ Kr	連続	⁸⁵ Kr	ND~4 ^{注3,注5}	kBq/m³		2007.10.1	N D ^{注3}
	ョゥ	素	敷地外3地点	連続	¹³¹ I	1回/週	¹³¹ I	N D	mBq/m ³		・採取期間:2007.7.2~ 2007.10.1	N D
	大気中	湿分	敷地外3地点	連続	³H	1回/月	³ H	N D	mBq/m ³		・採取期間:2007.6.29~ 2007.9.28	N D
飲			敷地外4地点		³H	1回/3ヵ月	³H	N D	Bq/L mBq/L		-採取日: 2007.7.3, 2007.7.5	N D
	料	水			⁹⁰ Sr		⁹⁰ Sr	N D				N D
				1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru		¹⁰⁶ Ru	N D				N D
					137 Cs 二 、 注4		¹³⁷ Cs 5 / \注4	N D				N D
					Pu(α) ^{注4} ⁹⁰ Sr		Pu(α) ^{注4} ⁹⁰ Sr	N D 1.5~5.4		4.6		N D 1.5∼9.4
	表		敷地内1地点 敷地外3地点		5r ¹⁰⁶ Ru	1回/年	106 Ru	N D	Bq/kg·乾	N D	-採取日:2007.7.27	N D
		±			129 <u>I</u>		129 T	N D		N D		N D
				1回/年	¹³⁷ Cs		¹³⁷ Cs	8~24		7		8~37
陸					Pu $(\alpha)^{{}^{\!$		$Pu(\alpha)^{{:}24}$	0.29~0.82		0.26		0.23~0.91
土					241 1 200		²⁴¹ Am	0.10~0.25		0.10		0.09~0.33
					244 Cm		²⁴⁴ Cm	N D		N D		N D
	湖底		ᇓᄽᄭᆟᄽᅩ		⁹⁰ Sr	1回/年	⁹⁰ Sr		Bq/kg•乾		_	ND∼0.5
				16/5	¹³⁷ Cs		137 C s				Altronomy W. Hingara Haran	5~11
		Ξ. Ξ.	敷地外1地点	1回/年	Pu(α) ^{注4}		Pu(α) ^{注4} ²⁴¹ Am				- 第3四半期報告予定	0.97~1.3
					241 Am 244 Cm		²⁴⁴ Cm					0.34~0.42 N D
陸上植物	精				14C	1回/年	14C		Bq/g•炭素 Bq/kg•生		-第3四半期報告予定	0.23~0.25
		米	敷地外3地点	1回/年	106 Ru		106 Ru					0.23~0.25 N D
		X (3X2E7TO2E/M	127 +	Pu $(\alpha)^{{ ot}}$		Pu $(\alpha)^{ ext{ iny 2}}$					N D
			敷地外2地点		106Ru	1回/年	106 Ru	N D	Bq/kg•生		・採取日:2007.8.16 対象・バレイショ ・第3四半期報告予定 対象・ナガイモ	N D
	根	菜		1回/年	- Ru - Pu(α) ^{注4}		Pu(α) ^{注4}	N D				N D
			敷地外1地点		¹⁰⁶ Ru	· 1回/年	¹⁰⁶ Ru		Bq/kg•生		・第3四半期報告予定対象:ハクサイ	N D
	葉	菜		1回/年	Pu(α) ^{注4}		Pu(α) ^{注4}					N D
畜産物	牛	乳	敷地外4地点	1回/3ヵ月		1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/L		•採取日:2007.7.3	N D
産物			敷地外4地点限値未満を示す		¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/L		•採取日:2007.7.3	

注1) N D:定量下限値未満を示す。

- 注2) 「平常の変動幅」とは、過去の測定結果(1998年度第3四半期~2006年度)のうち、再処理施設の平常運転に伴う変動を含めない最小値から最大値である。 ただし、上記の期間と異なる測定項目は以下のとおり。 ・積算線量(測定頻度:1回/3ヵ月)は、2003年第2四半期~2006年度までである。 ・浮遊じん及び陸上植物のPu(α)、陸土のPu(α)、²⁴¹Am、²⁴⁴Cmは、2002年度~2006年度までである。
- 注3) 1時間平均値を示す。 注4) $Pu(\alpha)$: 238 Pu $^{239+240}$ Pu の合計値を示す。
- 注5) モニタリングステーションにおける測定実績は以下のとおりであった。

モニタリングステーションを部川局において、9月21日の6時~7時の1時間平均値で3kBq/m3が測定された。他の期間は全てNDであった。モニタリングステーション二又局において、9月11日の13時~14時の1時間平均値で3kBq/m3が測定された。他の期間は全てNDであった。モニタリングステーション二又局において、9月11日の13時~14時の1時間平均値で3kBq/m3が測定された。他の期間は全てNDであった。 モニタリングステーション室ノ久保局において、9月12日の14時~15時の1時間平均値で4kBq/m3が測定された。他の期間は全